



先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム 博士論文報告会

2024年度 博士課程・先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム修了生による、
博士論文報告会を開催いたします。

2025年5月1日（木）16:50～18:35

（※本報告会は2名の博士課程修了者による発表を予定しております。）



幻のプリザベーション原則 —租税条約解釈論の再構築を目指して—

講演概要：二国間で国際的な二重課税を防止することを主な目的とする租税条約が多数締結されています。その中には、租税条約が国内税法上の特典を制限すると解してはならないというプリザベーション条項を含むものが少数あります。日本で同条項の適用があると、条約が国内法に優先するという序列が覆えることとなります。本講演では、同条項の起源を究明し、根拠を探り、適用例を検討することにより、日本では同条項が適用場面のない空文であることを示します。その上で、過去の裁判例を通覧し、新たな租税条約解釈論を提言します。あわせて論文作成の裏話を披露いたします。



発表者：井上 康一さん

1982年東京大学法学部卒業、1984年弁護士登録、1988年コーネル大学ロースクール修士課程修了、1989年ニューヨーク州弁護士登録、2025年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程・先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム修了。現在、外国法共同事業ジョーンズ・デイ法律事務所オブ・カウンセラー。主要共著書：『租税条約と国内税法の交錯（第2版）』（商事法務、2011）、『国際取引と海外進出の税務』（税務研究会、2019）。

開催方式：当日はハイブリッド形式で開催します。参加資格は不問です。

会場▶東京大学本郷キャンパス内

オンライン▶Zoom ウェビナー（webシステム）を利用

参加ご希望の方は、**4月30日（水）正午まで**に、右下のQRコードもしくは
<https://forms.gle/QxRQysMCF9wjxcpA6> からお申し込みください。



会場・ZoomのURL等ご案内は、参加登録後、
ご登録いただいたメールアドレスにお送りいたします。

問い合わせ先： 東京大学大学院法学政治学研究科
先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム事務局
<https://ablp.j.u-tokyo.ac.jp/event.html>
ablp@j.u-tokyo.ac.jp

